

ついでに訊かれる小児科外来

町立厚岸病院
佐々木暢彦





ついでに訊かれる小児科外来

(小児科) 外来に於いて、その日の受診理由に対する診療が一段落した時に、ついでのように質問されることが多い、ちょっとした事柄について

小児科外来では・・・

- 本来の受診理由とは別のことを、主に診察の終わり頃に、ついでに質問されることがよくあります
- 時には、その質問に対応することの方が、より長い時間を要したりします
- あるいは、ついでの質問の方がより深刻な悩みだったりすることもありました
- このようなことは、別に小児科だけではなく、特に総合診療的な外来では有りうるのかと思います

ついでに聞かれる、ということとは

- 保護者が緊急性を感じていない、と受け取れます
- そのため、気軽に応じることも多いのですが、中には重要な疾患が隠れている場合もあります
- あるいは、いくつかの心理的（精神的）な問題のように、表立っての受診理由にし難いことを何気なく？ 尋ねてくることもあり得ます
- ということで、何事もおろそかにはできないのです
- 実は16年前に、このタイトルで一度お話しているのですが、これだけ時間が経つと変更点も出てきました





- 便あるいは排泄に関して訊かれることが多いです
- 年代も乳幼児から学童まで、それぞれの年代によって親御さんの相談内容は異なりますが
- 一番多いのは「便秘」に関する質問、相談でしょう
- 20年前くらいから増えているように思います
 - 『今日で○日もウンコが出ていない』
 - 『便が硬くてウンチをするたびに泣く』
 - 『便をすると血が付いている』・・・など

子どもの「便秘」の診療

- まず全身を見て栄養状態が良さそうで、機嫌もよければ、それほど重篤な病態ではないでしょう
- 何時から（生後どのくらいから）の便秘か
- 食欲はどうか、嘔気・嘔吐があるか
- そして、好き嫌いなどの食事習慣を聞いていきます
- その後に腹部を含めて全身の診察ですが、乳児では肛門の診察が必要です
- Hirschsprung病を覚えていますか

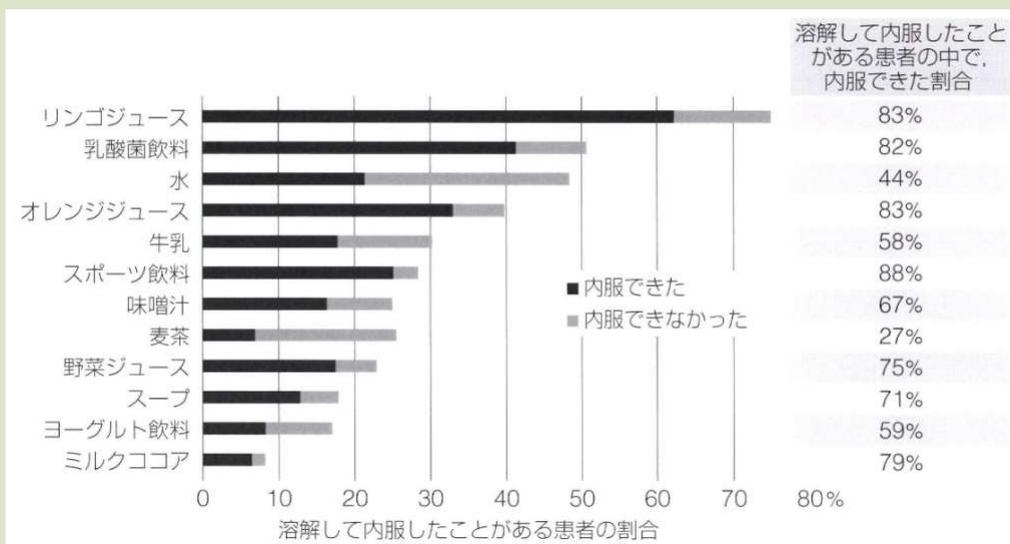
便秘の対策として

- 直腸に多量の便が貯留している場合は、浣腸して便塊除去を図ります
- 出てきた便を観察するとともに、排便後の腹部診察も忘れないこと
- 薬物治療は浸透圧下剤、乳児はモニラックなど
- その次に酸化マグネシウム（カマ）
- しかし、今では第一選択が変わっています

モビコールです

モビコール(ポリエチレングリコール)

- アメリカやイギリスの便秘症治療のガイドラインでは、以前から第一選択薬とされていた薬です
- 日本でも 2018年11月から、2歳以上の便秘症に対してモビコールの保険適用が認められました
- 水に溶かして飲むのですが、ちょっとしょっぱい
- 味のせいで飲めなかった子が5-10%ほどいるようですが、便秘に対する効果は十分に認められています



頭の形が気になります



頭の形が気になるんですが…

- 主に生後2,3ヶ月時のワクチン接種の際に、ついでに訊かれることが多い質問です
- 赤ちゃんの頭の形がゆがんでいるので心配、という質問は昔からありました
- 頭の形が気になる子どもが、特に増えてきたという印象もなかったのですが、最近では頭のかたちの専門病院なども誕生しています
- どのような子どもに医療的介入が必要なのか、その方面に詳しい後輩にちょっと尋ねてみました

位置的頭蓋変形 positional cranial deformity

- これは赤ちゃんがいつも同じ方向を向いて寝ることなどによって、頭蓋骨が変形する状態のこと
- いわゆる『向き癖』です
- 病気ではなく、脳機能の発達に影響が出ることは基本的にありません
- 形状によって「斜頭症」「短頭症」「長頭症」の3つ
- 赤ちゃんが自分で寝返りするようになると自然に治ることが期待できますが、変形が強い場合は…

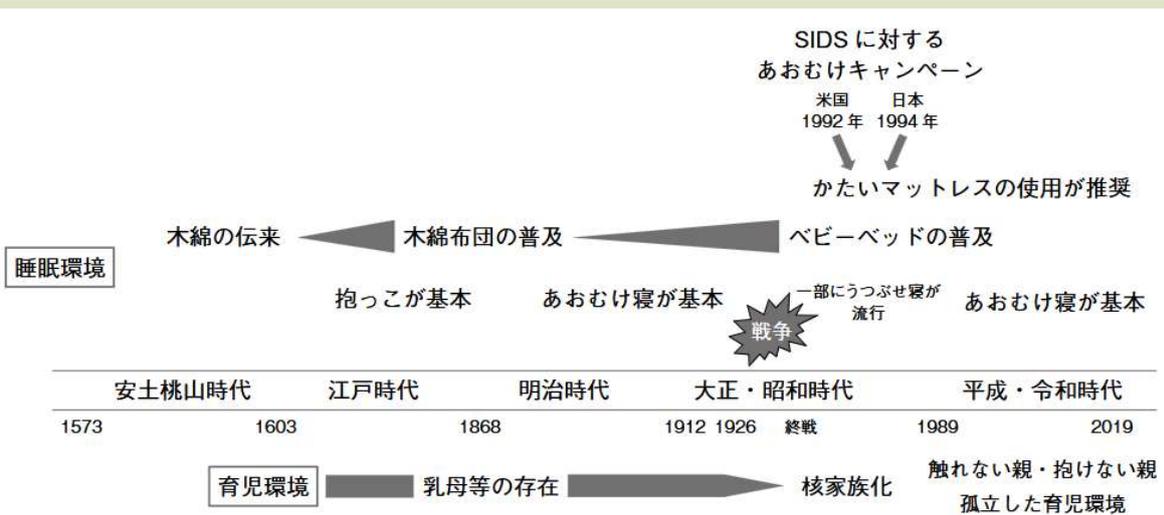
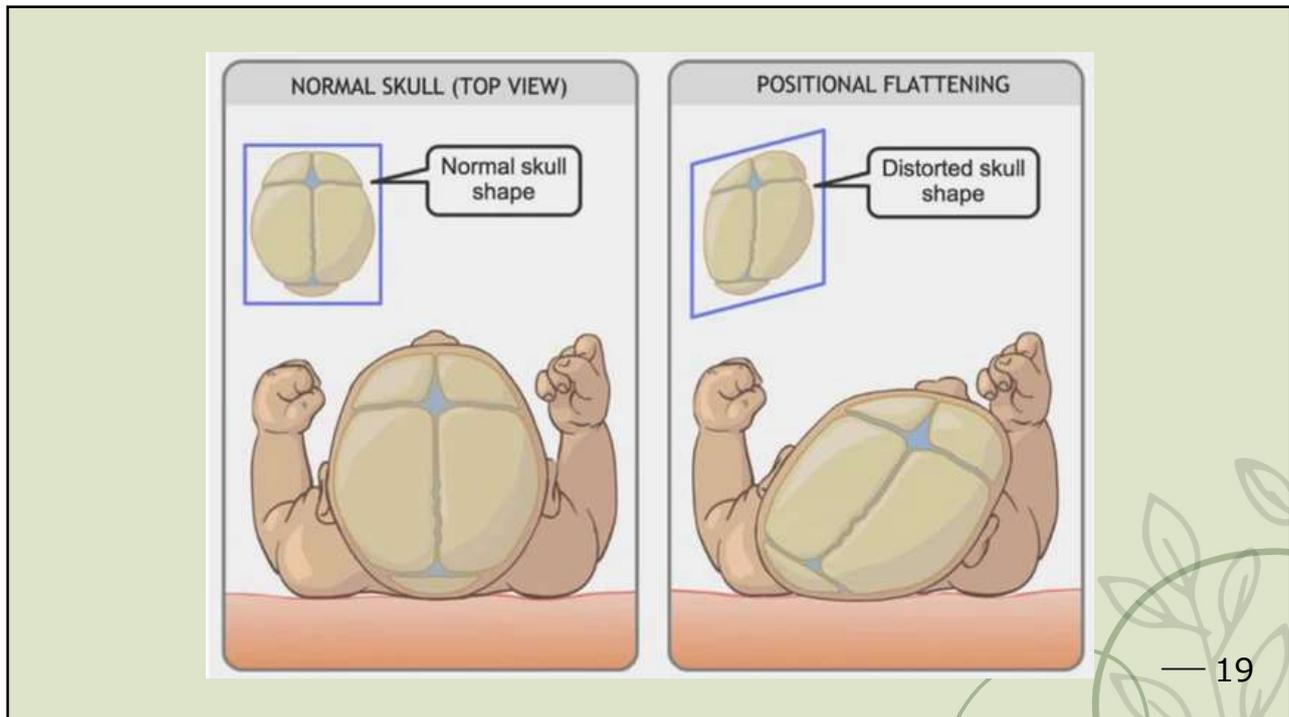


図1 日本における頭の形をとりまく状況

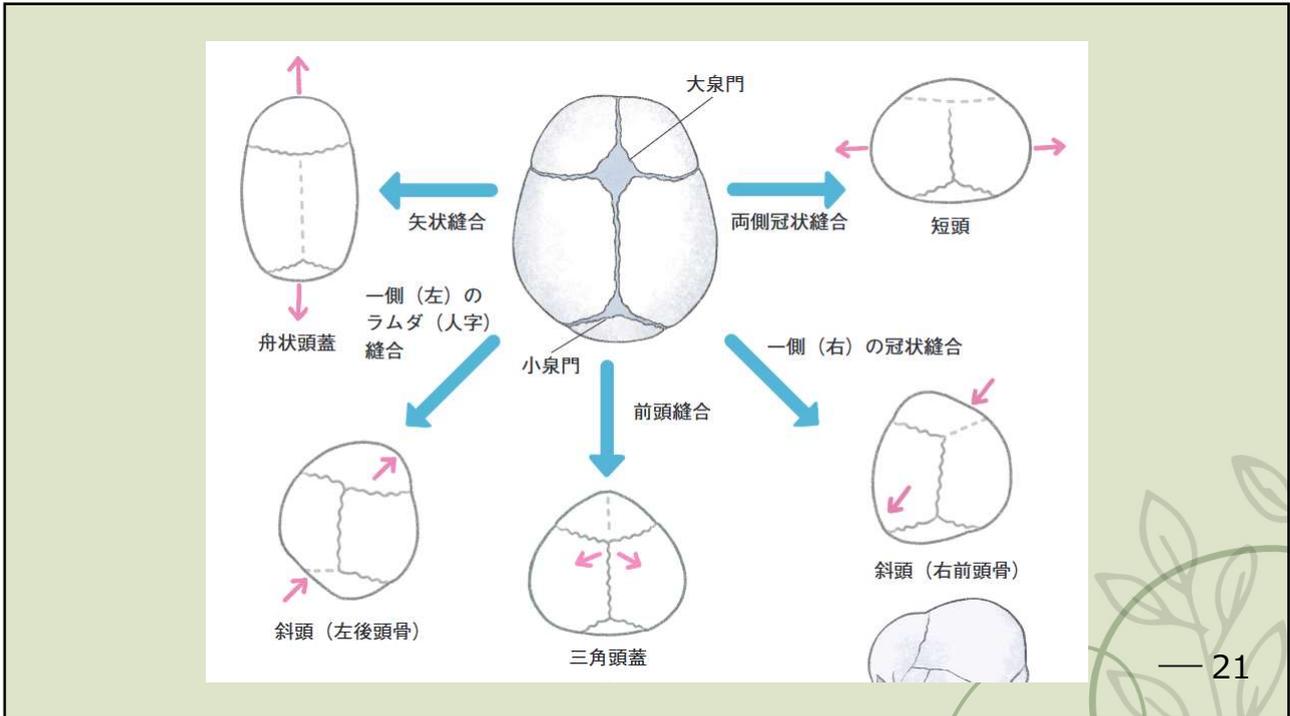


— 19

ここで注意すべきなのは…

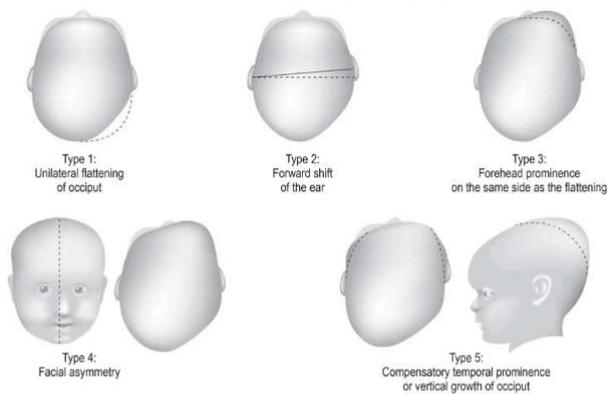
- 位置的頭蓋変形と**頭蓋縫合早期癒合症**との鑑別です
- 頭蓋縫合早期癒合症は、頭蓋縫合線のうちの1つ、もしくは複数、時には全部の縫合線が胎児期から1歳以前の早期に骨性癒合する疾患
- 癒合した縫合に対して垂直方向の発育が障害され、代償的に癒合した縫合と平行な方向に過成長し、頭蓋骨の変形を来すこととなります
- 頻度は2,000～3,000出生に1人とされています

— 20





Positional deformational plagiocephaly (according to Argenta)



Positional deformational brachycephaly (classified after Argenta)

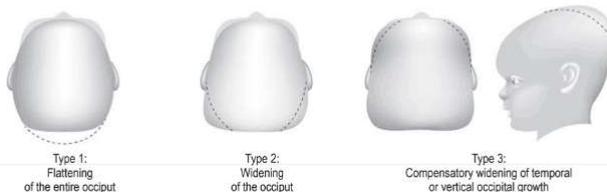


Figure 1: Classification of positional plagiocephaly and brachycephaly according to Argenta (20)

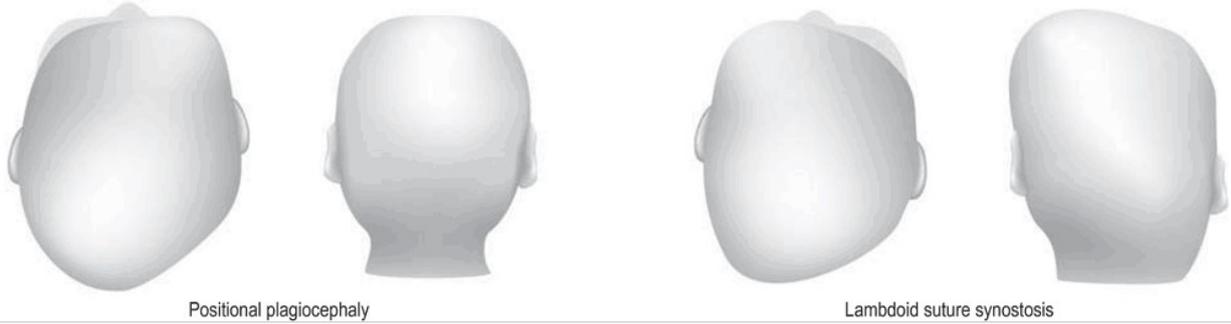


Figure 2: Clinical distinction between right-sided positional deformational plagiocephaly (DP) and right-sided unilateral lambdoid suture synostosis (LS)

Left: DP – top view shows parallelogram-like shift; back view shows normal shaped head
 Right: LS – top view shows trapezoid shaped head; back view shows parallelogram shaped head

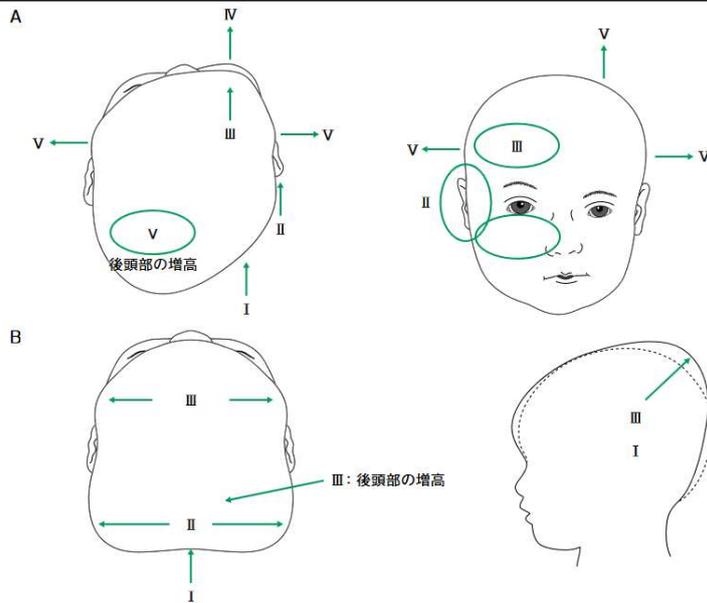


図1 Argenta分類

A: 変形性斜頭症。I. 片側の後頭部の平坦化, II. 同側の耳介の前方偏位, III. 同側の前額の前方突出, IV. 同側の頬部の前方突出, V. 多くは対側の側頭部の膨隆または後頭部の増高
 B: 変形性短頭症: I. 後頭部の左右対称性の平坦化, II. 後頭部の両外側への膨隆, III. 側頭前頭部の両外側への膨隆, 後頭部の増高
 (Argenta ら¹⁾, 2004)



— 27

- 赤ちゃんの頭の形にも注意しましょう
- 位置的頭蓋変形の多くは、気にならない程度に軽減すると思われます
- 一部、程度が強い例ではヘルメット療法が奏功する場合があります